

(社) 日本コンクリート工学会四国支部  
第1回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事録

1. 日 時：平成23年8月8日（月） 13:30～16:30
2. 場 所：徳島大学工学部建設棟4F A408
3. 出席者：上田委員長，岩原，牛尾，岡崎，高野，長江，原田，堀井，松田，三浦，横井，横田，横手，渡邊の各委員，一色（オブザーバー），大場（オブザーバー）  
(敬称略，順不同) 以上 16名
4. 配布資料：
  - 1-0 JCI 四国支部第1回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事次第
  - 1-1 JCI 四国支部「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」委員一覧
  - 1-2 JCI 四国支部研究委員会の委員公募について
  - 1-3 JCI 四国支部「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」活動方針案（2006.10.24 付け）
  - 1-4 FA 混和コンクリートの耐久性評価のためのフィジビリティスタディ結果について
  - 1-5 フライアッシュコンクリート構造物の耐塩害性に関する研究
  - 1-6 博士論文公聴会のご案内
  - 1-7 高知高専と大和生コンの共同研究成果の一部
  - 1-8 2011年高知高専連携研究について
5. 議 事：
  - (1) 委員長挨拶  
上田委員長から，2年間の活動期間を通して委員各位のご協力をお願いしたい旨の挨拶があった。
  - (2) 委員自己紹介  
資料1-1により現在の委員構成が紹介されるとともに，各出席委員から簡単な自己紹介があった。
  - (3) 委員構成等について  
委員構成に関して，塚越委員に幹事長をお願いすることが上田委員長から提案され，承認された。また，発注者からの委員について上田委員長から打診を行うこととなった。
  - (4) 活動方針検討のための話題提供  
委員会活動方針を検討するにあたって，資料1-2により今回の委員会の委員公募資料が説明され，資料1-3により，平成18年度および19年度に活動を行ったJCI 四国支部「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」の活動状況が上田委員長から紹介された。また，このJCI 四国支部の前回FA委員会の活動成果の概要と，土木学会「フライアッシュ有効活用小委員会」耐久性WGの活動成果の概要が上田委員長から紹介された。さらに，横田委員から，資料1-4にしたがって，FAコンクリート中の塩害による鉄筋腐食に着目した検討成果の概要が紹介され，高野委員からは，資料1-5にしたがって，今年度四国電力で実施予定のFAコンクリートの耐塩害性評価のための実験計画が説明された。
  - (5) 委員会活動方針と今後の予定  
上記の議論を元に，今後の方針として以下が確認された。
    - ・暫定的な考え方として，以下の3つのWGを立ち上げてはどうか。①耐塩害性評価WG，②FAコンクリートの応用・実用化技術WG，③FAの普及検討WG（アンケート結果の対応）
    - ・次回委員会は11/8（火）13:30～徳島大学にて開催することとし，この際に各委員より，これまでの活動実績や具体的な活動希望を発表していただくこととする。

報告者：上田  
以 上